

NADPZ NEWSLETTER

THRIVING THROUGH CHANGE: INNOVATION, SUSTAINABILITY & RESILIENCE

2025 / 2026年の農業シーズン — 新しい命と希望をもたらして

新しい農業シーズンの始まりは、いつも未来への新たな希望と、これからを見つめ直す機会をもたらします。多くの農家にとって、ここ数年は非常に厳しいものでした。予測できない気候パターン——干ばつ、洪水、そして異常な高温など——が続き、作物にとって困難な条件となり、小規模農家に大きな負担をもたらしました。

そのような困難の中でも、農家の人々は粘り強く努力を続けてきました。今年の降雨量は平均的に見て、長く乾燥した状態が続いたこれまでのシーズンに比べると、より好ましい見通しとなっています。政府からは一部地域での過剰降雨の可能性について注意喚起も出されていますが、全体としては前向きな見通しです。引き続き慎重な作物管理が必要ではありますが、多くの農家は今年のシーズンがより良い収穫と、家庭や地域社会の安定の回復につながることを期待しています。



私たちのムババラ (Mbabala) デモンストレーション・トレーニングサイトで撮影された写真は、この瞬間の美しさをよく捉えています。青々と茂るトウモロコシ畑は、生命、成長、そして忍耐の力強い象徴です。デモンストレーション農家の人々は、自らの作物のそばに誇らしげに立ち、努力と献身の成果を喜び合っています。これらの力強く育つトウモロコシは、単に良い農業シーズンを示しているだけではありません。長年にわたり農家が大切に育ててきた自然農法の強さと持続力を象徴しています。

2026年に向けて、私たちの目標は、この力強い在来トウモロコシの種を守り、さらに増やしていくことです。そしてそれをザンビア各地の自然農法に取り組む農家たちと分かち合うことで、食料安全保障を強化し、貴重な在来種を守り、より多くの農家が持続力のある農業体系を築くことを支えていきたいと考えています。

今シーズンの緑豊かな畑は、良い収穫の兆しであるだけではありません。それはまた、忍耐、知恵、そして協力があれば、どんな困難な状況の中でも希望は育つということを思い出させてくれるものです。



この成功の中心には、とても特別な種があります。現在栽培されているトウモロコシの種は、献身的な農家たちが20年以上にわたり大切に種取りを続けてきた結果として受け継がれてきたものです。干ばつ、作物の不作、不確実な状況が続く季節の中で、農家たちはこの在来種の種を守り続けてきました。時には失われそうになったこともありましたが、強い決意と協力によって生き残ってきたのです。

今日、この種は単なる作物以上の意味を持っています。それは忍耐の物語、地域に蓄積された知恵、そして小規模農家の不屈の精神を宿しています。この種の強さは、農家自身の強さを映し出しています。困難な状況の中でも学び続け、互いに支え合いながら歩み続けてきた人々の強さです。

私たちのスピリチュアル・ジャーニー

2025年は、私たち家族が共に歩み始めたスピリチュアルな旅の始まりの年となりました。それは意味深く、また大きな励ましを与えてくれる旅でもあります。この歩みを通して、私たちの家族の中では、人生の目的とは何か、そして本当の意味で自分自身を知ることの大切さについて、数えきれないほど多くの対話が生まれました。この場を借りて、この期間を通して温かい支えと励ましを与えてくださった秀明の友人の皆さまに、心から感謝を申し上げたいと思います。私たちはこの旅をこれからも続けていくことをとても楽しみにしており、その体験や喜びを皆さまと分かち合えることを心待ちにしています。そして、皆さまと共に浄霊を分かち合い、お祝いできる日が訪れることを楽しみにしています。

